

## 幸松地区公民館・幸松第二公民館

### ◇運営の基本方針

生涯学習拠点施設として、地域住民の身近な学習・交流活動の場として親しみをもって来館できる公民館を目指す。

### ◇重点施策

- 1 地域住民の健康増進と住民相互の理解と交流を深め、学習機会の充実と公民館利用の促進を図る。
- 2 家庭教育の充実と青少年の健全育成を図る。
- 3 各種関係組織・団体との連携を図りながら、事業展開を図る。

### ◇重点事業

- 1 こうまつ寺子屋
- 2 家庭教育学級
- 3 むかしの遊び教室
- 4 幸松地区体育祭・幸松ふれあい文化祭

#### 幸松地区公民館

所在地 〒344-0004 春日部市牛島667番地1

TEL 048-752-6065

FAX 048-752-6065

E-mail komatsukou@city.kasukabe.lg.jp



#### 幸松第二公民館

所在地 〒344-0007 春日部市小渕73番地1

TEL 048-761-5510


FAX 048-761-5510

E-mail komatsu2kou@city.kasukabe.lg.jp



職員	館長(兼務)	今井達哉
	主査(兼務)	當間雄一郎
	主任(兼務)	蛭間博文
	主事(兼務)	段春菜
	フルタイム(兼務)	磯野良英
	フルタイム(兼務)	大石富美代

## 幸松地区 1

事業名 テーマ	スポーツ広場 バドミントン・卓球の施設開放		対象	一般		定員	バドミントン 6名 卓球 24名	
ねらい	体育室をバドミントン・卓球の会場として無料開放し、スポーツを通じて健康増進を図ると共に地域住民の交流を深める。							
協力機関 及び団体		特色 位置 づけ	重点事業		SDGs の目 標No	3		
会場	幸松地区公民館 体育室		教材 資料等	ラケット・シャトル・球・卓球台・ネット・支柱等				
実施までの経過	公民館だよりに掲載		PR方法	公民館だより「ふじの里」にて、実施日の前月、前々月に案内する。				
			受付方法	新型コロナウイルス感染症防止のため開催日の1か月前から受付受付				
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
				男 計	女 計	合計		
回数	総時間数							
4月3日(日) 3月19日(日)	第一・第三日曜日 4時間 第二土曜日 3時間30分	体育室を無料開放する。  第一・第三日曜日 8:30~10:00 バドミントン 10:00~12:30 卓球  第二土曜日 9:00~12:30 卓球	実技	157	303	460		
32回	112時間			157	303	460		
企画運営上の工夫	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、用具の貸し出しは行わず、各自ラケット等の道具を持参するように徹底した。							
成果参加者の声など	初めて参加する人には常連の人が利用の仕方を教えており、準備・後片付けにいたっては参加者同士が協力しあいスムーズに行われている等、地域住民同士のふれあいの場となっている。また、参加者が卓球のサークルに加入することもあり、サークル活動の活性化にもつながっている。							
課題と展望	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止を余儀なくされた月もあったが、楽しみにしている方が多く、日によっては参加者が定員寸前になるほど盛況である。市民の交流・健康増進の場となっている事業であるので、今後も継続していきたい。							

事業名 テーマ	子育てサロン		対象	乳幼児とその保護者		定員	10組	
ねらい	親子で気軽に立ち寄り、育児の不安・悩みなど、子育てについて共に学び、親子が集う場とする。							
協力機関 及び団体	幸松地区民生委員・児童委員協議会 更生保護女性会		特色 位置 づけ			SDGs の目 標No	4	
会場	幸松地区公民館 講堂		教材 資料等	おもちゃ・絵本・工作用具等				
実施までの 経過	公民館だよりに掲載 		PR方法	公民館だより「ふじの里」 子育て情報メール				
			受付方法	新型コロナ感染症防止のため 事前受付				
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
回数	総時間数			男 計	女 計	合計		
4月20日(水)	10:00~11:30	毎月第3水曜日 乳幼児を持つ家庭の親 子同士の交流・情報交換  	遊び 対話	2	8	10	 	
5月18日(水)				3	7	10		
6月15日(水)				4	6	10		
7月20日(水)				7	10	17		
8月17日(水)				5	11	16		
9月21日(水)				1	2	3		
10月19日(水)				3	4	7		
11月16日(水)				2	6	8		
12月21日(水)				3	9	12		
1月18日(水)				3	8	11		
2月15日(水)				5	12	17		
3月15日(水)				6	3	9		
12回	18時間			44	86	130		
企画運営上 の工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎月、季節に合わせた簡単な工作などを企画し、参加者の興味を引くよう工夫した。</li> <li>コロナ禍の開催であったが、会場全員のマスク着用、手指の消毒を徹底したうえで実施。</li> </ul>							
成果 参加者の 声など	リピート率が高く、アットホームな雰囲気の中で、親だけではなくスタッフも、子どもたちの成長を感じることができた。参加者からは「子どもだけではなく、親もリラックスして楽しめる」などの感想をいただいた。							
課題と展望	<ul style="list-style-type: none"> <li>一度参加するとリピートしてくれる親子が多いので、さらに工夫を凝らした企画を考え、参加者を増やしていきたい。</li> <li>親同士・子ども同士の交流の場や、育児の息抜き・気分転換の場となっているので、今後も継続していきたい。</li> </ul>							


幸松地区 3


事業名 テーマ	こうまつ寺小屋 ①パールの指輪とネックレス作り ②「睡眠」と「健康」の知恵袋講座 ③女性のための「健康づくり栄養」講座 ④小学生サイエンス教室 ～たのしい化学の実験～	対象	①設けず ②すべての年齢層 ③成人男女 ④小学生とその保護者	定員	①20名 ②40名 ③30名 ④20組		
ねらい	市民生活に身近な素材を取り上げ、地域住民の教養を高める。						
協力機関 及び団体	①幸松婦人会手工芸委員 ②③明治安田生命保険相互会社 ④埼玉県立春日部東高等学校 化学部	特色 位置づけ	重点事業	SDGs の目 標No	4・5		
会場	①幸松地区公民館 研修室A・B ②③④幸松地区公民館 講堂	教材 資料等	①ハサミ、先細ペンチ(有れば) ②③レジュメ ④レジュメ・実験キット				
実施ま での経 過	3月上旬 ①企画・立案・講師決定 4月1日(金) ①講師依頼	PR方法	公民館だより「ふじの里」 ポスター掲示・チラシ配布				
	3月上旬 ②企画・立案・講師決定 5月14日(土) ③企画・立案 6月3日(金) ③講師依頼 4月上旬 ④企画・立案 6月1日(水) ④講師依頼	受付方法	①4月13日(水)9:00～窓口申込み ②4月2日(土)9:00～窓口・電話申込み ③6月3日(金)9:00～窓口・電話申込み ④7月1日(木)9:00～窓口・電話申込み				
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回数	総時間数			男 計	女 計	合計	
5月18日(水) 5月25日(水)	13:00～16:00	パールの指輪とネックレス作り	実習	0	31	31	幸松婦人会手工芸委員 榎本 良子 他6名
①4月14日(木) ②4月28日(木)	10:00～11:30	①最適な「睡眠」を考える ②よい睡眠のための睡眠環境	講義	①5 ②6	①21 ②18	50	明治安田生命保険相 互会社 榎原 徳久
6月16日(木)	10:00～12:00	肌老化を防ぐ抗酸化と抗糖化 について 野菜が持つ抗酸化 力と抗糖化の仕組み	講義	0	25	25	明治安田生命保険相 互会社 村本 麻奈
8月4日(木)	10:00～12:00	「液体窒素」「スーパーボ ール」「スライム」等の実験	実習	13	25	38	埼玉県立春日部東高 等学校 化学部
4回	8時間30分			24	120	144	
企画運営上 の工夫	①地元婦人会と共催で行うことにより、地域内の連携を図る。②多くの人が抱える悩みの一つである「睡眠」をピックアップすることで地域住民の興味関心を持たせ、集客を図る。③女性のみでなく、男性も参加できるように募集をかけた。④楽しみながら実験や工作をすることにより、理科や勉強への興味関心を高めてもらう。						
成 果 参加者 の声 など	①「手工芸が好きなので楽しかった」「親切でわかりやすかった」との声をいただき、盛況であった。②「見やすい資料とわかりやすいお話でした」「睡眠の不安が解決でき、更にこれからどんな生活をしていけばいいのかわかり、安心した」と大盛況であった。③「解説が明瞭でわかりやすかった」「今日得た知識を早速実生活で取り入れようと思った」との声をいただいた。④「いろんな実験ができてよかった」「お兄さん(化学部員)たちが優しく丁寧に教えてくれたから楽しかった」など内容だけではなく、講師の教え方についても高評価を得た。			 			
課題と展望	①今回の内容は難易度が高く、1回の講座では完成が出来なかったため、次回は関係団体と十分な打ち合わせを行いながら、引き続き実施していきたい。②③健康に関する講座は需要は高いと考えられることから、今後も関係団体と協力し、事業を実施していきたい。④講師から「コロナ禍で発表の場が減少してしまった化学部の力を発揮できる場となった」との声をいただいた。子ども達が化学のたのしさに触れる機会の創出だけでなく、講師として日頃の勉強の成果を発揮できる場の創出も兼ねていることから、今後も継続して事業実施の協力をお願いしたい。						

事業名 テーマ	こうまつ寺小屋 ⑤今から取り組もう！防災講座 ⑥自筆証書遺言書の書き方講座 ⑦星空観察教室 ⑧シニア世代のスマホ教室	対象	⑤⑥成人男女 ⑦小学生とその保 護者 ⑧幸松地区在住の 65歳以上の方	定員	⑤30名 ⑥20名 ⑦15組 (30名) ⑧各10名		
ねらい	市民生活に身近な素材を取り上げ、地域住民の教養を高める。						
協力機関 及び団体	⑤明治安田生命保険相互会社 ⑥幸松地区生涯学習市民推進員 ⑦生涯学習市民推進員 ⑧春日部市役所情報政策課 株ジェイコム埼玉東日本 越谷・春日部局	特色 位置づけ	重点事業 ⑥⑦生涯学習市 民推進員共催事 業	SDGs の目 標No	4・13		
会場	⑤⑥⑦⑧幸松地区公民館 講堂	教材 資料等	⑤レジュメ ⑥レジュメ ⑦レジュメ・ 星座早見表 ⑧レジュメ				
実施ま での経 過	6月中旬 ⑤企画立案 8月上旬 ⑤講師依頼 4月上旬 ⑥企画・立案・講師依頼 4月上旬 ⑦企画立案 4月15日(金) ⑦講師依頼 12月上旬 ⑧企画・立案・講師決定	PR方法	公民館だより「ふじの里」 ポスター掲示・チラシ配布				
		受付方法	⑤8月18日(木)9:00～窓口・電話申込み ⑥10月13日(木)9:00～窓口・電話申込み ⑦10月19日(水)9:00～窓口・電話申込み ⑧2月9日(木)9:00～窓口・電話申込み				
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回数	総時間数			男 計	女 計	合計	
9月15日(木)	9:30～10:35	第1部 災害に備える 「防災脳」を活性化！ 第2部 突然の地震に備える 防災知識とアクションプラン	講義	3	7	10	明治安田生命保険相 互会社 中野 俊之
	10:45～12:00						
11月24日(木)	9:30～11:30	自筆証書遺言書の方式 自筆証書遺言書の書き方	講義 実習	6	15	21	生涯学習市民推進員 (行政書士) 赤堀良孝
12月11日(日)	17:00～19:00	星座早見表の作成 星座・流星群の説明 <small>※曇天のため、野外での観望会は中止</small>	講義	14	19	33	草加天文愛好会 三田明
3月9日(木)	①13:30～15:00 ②15:30～17:00	スマホを使ったインターネット などの活用方法を学ぶ	講義 実習	①4 ②4	①6 ②4	18	春日部市役所情報政策課 株ジェイコム埼玉東日本 越谷・春日部局
4回	9時間20分			31	51	82	
企画運営上 の工夫	⑤受講者が興味のある内容のみを受講できるよう、第一部と第二部それぞれ一つのみ参加も可能とした ⑥行政書士であり、幸松地区の生涯学習市民推進員でもある赤堀氏と共同で企画した。⑦本格的な天体望遠鏡等を使った夜空の観察を行うことで、子どもたちに天体への興味・関心を持ってもらうきっかけとした。⑧スマートフォンをお持ちの65歳以上の方を対象として、インターネットなどの知識の習得してこれからのデジタル社会の一助となる講座を開催した。また、少人数にすることで、参加者一人一人に理解しやすい環境作り努めた。						
成果 参加者の 声など	⑤「災害が多くなったことを日々感じているので準備が大事であることがわかった」との声をいただいた。⑥「丁寧に説明して下さった」「資料も講義内容も充実していた」などの声をいただいた。⑦「知らないことが知れてよかった」「天気が悪くて残念だったが、その分濃い内容のお話が聞けてよかった」など、児童・保護者ともにおおむね満足の声声をいただいた。⑧「親切に教えてもらい良かった」「大変勉強になった」などの声をいただいた。						
課題と展望	⑤他の講座に比べて受講者の人数が少なかったため、人々の興味をひくような内容を協力機関と精査し、次の開催を検討していきたい。 ⑥アンケートでは「2時間では足りなかった」との意見もあったことから、今後は1回の開催だけでなく、複数回の開催などを検討し、多くの方に満足してもらえるような事業を展開していきたい。 ⑦天候が悪く、観望会が中止になったことで参加者から「見れなくて残念」との意見を多くいただいた。今後は悪天候でも屋外で楽しめるような催し物を企画していく必要があると考える。 ⑧受付開始とともに定員に達するほどニーズが高い事業であったため、来年度については定員や講座の時間など考慮して、事業を開催する検討をしていきたい。						



幸松地区 5



事業名 テーマ	公民館利用団体共催 オープン講座 はじめてのパドル体操		対象	成人男女	定員	30名	
ねらい	利用団体と公民館で共催の事業・展示会を実施することで、定期利用団体の会員増加につなげるとともに、各団体の活動を広め、幸松地区の活性化に寄与する。						
協力機関 及び団体		特色 位置づけ	年間をとおして利 用団体と共同で講 座や展示会を開催	SDGs の目 標No	4		
会場	幸松地区公民館 講堂		教材 資料等				
実施ま での経 過	1月11日(水) 講師依頼 1月12日(木) 打合せ 2月1日(水) 公民館だより発行 2月16日(木) 申込開始		PR方法	公民館だより2月号			
			受付方法	2月16日(木)9:00～幸松地区公 民館窓口もしくは電話にて申込み 開始 (先着順)			
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回数	総時間数			男 計	女 計	合計	
3月16日(木)	13:30～15:30	パドル体操 	実技	0	9	9	NPO法人パドル ジャークス体操協会 及川 優子
1回	2時間			0	9	9	
企画運営上 の工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナ感染拡大防止のため、換気や手指消毒を励行した。</li> <li>・パドル体操を知らない方にも親しみやすいよう、申込み時から公民館にパドルの見本を置いて実際に触れられるようにした。</li> </ul>						
成 果 参加者 の声 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当日の参加者は9名と少人数ではあったものの、「先生の教え方が楽しくて今後も続けていきたい」「全身運動が出来てよかった」「体を動かしてスッキリした」などのお声をいただいた。</li> <li>・今回の事業を経て、サークルを立ち上げることが出来た。</li> </ul>						
課題と展望	<p>馴染みのない種目であるためか、集客は少なかったものの、参加者からは大満足の声をいただいた。今後は新しくできたサークルメンバー同士で知恵を出し合い、メンバーを増やしていけるよう、公民館でもサポートを行なっていきたい。</p>						

事業名 テーマ	折紙で作る干支飾り「～うさぎ～」		対 象	成人一般		定員	15名	
ね ら い	昔ながらの遊び心で余暇の活用と物を作る楽しさを体験してもらい、参加者同士が交流しながらふれあいを深める機会とする。							
協力機関 及び団体	幸松第二公民館利用サークル		特 色 位置づけ			SDGs の目 標No	4	
会 場	幸松第二公民館 大会議室		教 材 資 料 等	折紙・ボンド・定規・はさみ・筆記用具				
実施ま での経 過	5月中旬 講師折衝 7月中旬 打合せ 10月1日(土) 公民館だより「ふじの里」 10月号掲載 10月中旬 ポスター掲示 10月25日(火) 申し込み受付開始 ～ 11月30日(水) 事業実施		PR方法	公民館だより「ふじの里」10月号 掲載、ポスター掲示				
			受付方法	10月25日(火)9:00～幸松第二公民 館窓口、または電話にて定員になり 次第受付終了 材料費300円は当日徴収				
月日(曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
				男	女	合計		
回 数	総時間数			計	計	合計		
11月30日(水)	10:00～12:00	2023年干支 卯(うさぎ) のお飾りを折紙で作る	実習	0	15	15	ピーマン 中山 ナホ子	
								
1回	2時間			0	15	15		
企画運営上 の工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>公民館ロビー展示した折紙作品の評判が良かったので、簡単にできる季節に合った作品の講座を公民館利用サークルに依頼した。</li> <li>事前にサンプルとなる作品を展示し、関心を持ってもらう機会を作った。</li> <li>密にならないよう少人数で大きな会場を利用し、感染防止に配慮し安心して参加できる対策を整えた。</li> </ul>							
成 果 参加者の 声 など	<ul style="list-style-type: none"> <li>丁寧に教えてもらい、出来上がるとうれしかったです。</li> <li>かわいいうさぎが完成しました。頭を使っただけの作業もいいものです。また参加したいです。</li> <li>知らない隣の人と相談をしながら、作品を完成させ、出来上がった時の喜びを共有しました。</li> <li>結構難しく、家に戻るとできませんでした。</li> </ul> など、おおむね好評の結果が得られた。							
課題と展望	<ul style="list-style-type: none"> <li>わかりづらい部分の講師の説明方法や、参加者の構成などが改善の課題とされる。</li> <li>作品を作り上げる喜びを実感してもらえらるため、今後も、「ものづくり」を楽しんでもらえるように企画していきたい。</li> <li>協力団体のサークルに興味を持った参加者がいたので、新規会員開拓の足がかりとなるよう内容を検討していきたい。</li> </ul>							

## 幸松地区 7

事業名 テーマ	幸松地区体育振興会 ①ボッチャ体験会 ②第14回グラウンドゴルフ大会 ③第21回スマイルボウリング大会		対象	①地区在住者(小学3年生以上) ②地区内在住の成人 ③地区在住者(小学4年生以上)		定員	①27名 ②16チーム (1チーム3名) ③14チーム (1チーム5名)	
ねらい	地区内住民が気軽に参加でき、高齢者をはじめあらゆる年代層で楽しめるスポーツ大会を開催することにより、住民の健康と体力の向上及び親睦をはかり健全な地域の発展をめざす。							
協力機関 及び団体	幸松地区体育振興会		特色 位置づけ			SDGs の目 標No	3・4	
会場	①幸松地区公民館 講堂 ②牛島小学校 校庭 ③幸松地区公民館 体育室		教材 資料等					
実施ま での経過	4月16日(土) 第1回体育振興会理事会 開催 5月21日(土) 体育振興会総会		PR方法	公民館だより6・8・10月号				
	5月28日(土) 第2回体育振興会理事会 開催 8月7日(日) ボッチャ体験会開催 11月27日(日) 第14回グラウンドゴルフ 大会開催 12月11日(日) 第21回スマイルボウリング 大会開催		受付方法	①6月8(水)から電話もしくは直接 窓口へ申込 ②10月15(土)～11月6(日)まで に直接公民館へ申込 ③11月9(水)～11月27(日)まで に直接公民館へ申込				
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
回数	総時間数			男 計	女 計	合計		
①8月7日(日)	9:00～12:00	ボッチャ体験会	競技	4	13	17	幸松地区体育振興会	
②11月27日(日)	9:00～12:00	第14回グラウンドゴルフ大会	競技	15	31	46	幸松地区体育振興会	
③12月11日(日)	9:00～12:00	第21回スマイルボウリング大会	競技	7	28	35	幸松地区体育振興会	
3回	9時間			26	72	98		
企画運営上 の工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、マスクの着用、手指消毒や検温の徹底、換気も十分に行い、競技を実施した。</li> <li>・参加者について、会場で密にならないように定員を設定して開催をするよう配慮した。</li> <li>・表彰は、成績上位者だけでなく飛賞などを設けて参加者が少しでも楽しめるようにした。</li> </ul>							
成 果 参加者の 声 など	<p>①初めて開催したが、参加された方が競技に夢中になり、参加者は少なかったが満足してくれたので良かった。</p> <p>②・③賞品をもらえてうれしかったとの声や参加者同士の交流も図れ、楽しい時間が過ごせたとの声が多く聞かれ大変好評であった。</p>							
課題と展望	来年度以降についても、感染症対策を十分に取りながら、また、内容等も精査して実施していきたい。							



事業名 テーマ	幼児家庭教育学級 ①ベビーマッサージとママヨガ ②わくわく！リトミック		対象	未就学児とその保護者		定員	各10名	
ねらい	幼児期の発育を正しく理解し、家庭における教育の在り方について学ぶ。							
協力機関 及び団体	①更生保護女性会(託児)		特色 位置づけ	重点事業		SDGs の目 標No	4	
会場	①幸松地区公民館 和室 ②幸松地区公民館 講堂		教材 資料等					
実施ま での経 過	6月下旬 ①講師依頼 7月7日(木) ①講師打合せ 8月1日(月) ①公民館だより8月号掲載 8月17日(水) ①申込み受付開始 8月25日(木) ①子育て情報メール配信		PR方法	①公民館だより、安心安全メール ②公民館だより				
	1月5日(木) ②講師依頼 1月26日(木) ②講師打ち合わせ 2月1日(水) ②公民館だより2月号掲載 2月9日(木) ②募集開始		受付方法	①8月17日(水)午前9:00～幸松 地区公民館に直接または電話で受 付(先着順) ②2月9日(木)9:00～幸松地区公 民館に直接または電話で受付(先 着順)				
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の 職名 氏 名	
回数	総時間数			男	女	合計		
9月14日(水)	10:00～12:00	ベビーマッサージ ママヨガ	実技	1	2	3	助産師 外山 君江	
3月2日(木)	10:00～11:30	リトミック (歌、手遊び、工作など)	実技	3	13	16	リトミック研究 センター 栗岡 一矛  ピアノ講師 西村 範子	
2回	3時間30分			4	15	19		
企画運営上 の工夫	①対象以外のお子さんのため、別室での託児を用意した。 ②親子同士のふれあいを楽しむ場をつくることで、親子のコミュニケーション作りの手助けをする。							
成果 参加者の 声など	①参加者からは「産後の体のメンテナンスが出来ていなかったのがヨガでほぐれた。いろいろなお話を聞くことができよかった」との意見をいただいた。 ②参加した保護者からは「ピアノの生演奏で音楽にふれることができ良かった」との声をいただいた。 							
課題と展望	①1組のみの参加であったが、参加者からは大満足の声をいただいていることから、周知方法を見直し、多くの方に参加してもらえる事業を実施していきたい。 ②今回好評であったことから来年度も実施を検討したい。 アンケート結果も参考にし、参加者のニーズにあった事業を開催したい。							

## 幸松地区 9

事業名 テーマ	第68回幸松地区体育祭		対象	幸松地区内住民		定員	定めず	
ねらい	地区内住民が気軽に参加できる、地域をあげての体育・レクリエーションの祭典で、住民が主体となって開催し、健康と体力の向上及び親睦を図り健全な地域の発展をめざす。							
協力機関 及び団体	幸松地区自治会連合会・幸松地区体育振興会		特色 位置づけ	重点事業			SDGs の目 標No	3・11・17
会場	東中学校 校庭		教材 資料等	競技用具一式				
実施ま での経 過	5月29日(日) 春日部市民体育祭実行委員会		PR方法	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止				
	6月11日(土) 体育祭第1回実行委員会							
実施ま での経 過	7月16日(土) 体育祭実行委員会役員会		受付方法	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止				
	8月2日(火) 春日部市民体育祭実行委員会において、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止を決定							
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
				男 計	女 計	合計		
回数	総時間数							
10月9日(日)	8:45~12:30	内容未定	競技	0	0	0		
0回	0時間			0	0	0		
企画運営上 の工夫	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。							
成 果 参加者 の声など	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。							
課題と展望								

事業名 テーマ	第34回 幸松ふれあい文化祭	対象	公民館利用者及び幸松地区に在住・在勤・在学する方で、文化祭の趣旨にご賛同いただける方	定員	定めず		
ねらい	地域の住民の文化・スポーツ活動の学習成果の発表の場及び地域住民のふれあいの場とする。						
協力機関及び団体	主管:第34回幸松ふれあい文化祭実行委員会 協賛:幸松地区自治会連合会	特色 位置づけ	重点事業	SDGs の目 標No	4・11 12・17		
会場	幸松地区公民館 全館	教材 資料等	プログラム				
実施までの経過	6月1日(水) 公民館だより掲載 7月6日(水) 参加団体申込受付開始 7月31日(日) 参加団体申込〆切 8月1日(月) 公民館だより掲載 8月17日(水) ボランティア募集開始 9月3日(土) 第1回実行委員会 10月1日(土) 公民館だより10月号掲載 10月12日(水) ボランティア募集〆切 10月22日(土) 第2回実行委員会 11月8日(火) 文化祭準備 ～12日(土) 11月13日(日) 開催	PR方法	公民館だより「ふじの里」6・8・10月号に掲載 窓口にてプログラム配布				
		受付方法	7月6日(水)～7月31日(日)までに幸松地区公民館・幸松第二公民館の窓口で配布する申込用紙を提出				
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回数	総時間数			男 計	女 計	合計	
11月13日(日)	10:00～16:30	展示・体験・ステージ発表		254	538	792	
							
1回	6時間30分			254	538	792	
企画運営上の工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、来館者の入館時間の把握、不織布マスクの着用等を徹底。また、ステージ発表の舞台人数の制限、客席の間隔を開けるなどの対策をおこなった。</li> <li>・様々な世代に楽しんでもらえるよう、小中学生の演奏や絵画の展示、「公民館まつり」として昔の遊びコーナーを設けるなどの工夫をした。</li> <li>・参加団体の少なさを利用し、1階のみの展示スペースにすることで来館者の移動距離を少なくした。</li> </ul>						
成果参加者の声など	「3年ぶりの開催であったため、開催できてよかった」「新型コロナウイルス感染防止対策をきちんと行なっていただき感謝します」「小学生～シニア世代の参加が素晴らしい」とのご意見をいただいた。						
課題と展望	子どもたちの興味を引く催し物を実施したことや、子どもたちの発表の場を充実させたことで多くの来館者に来てもらうことが出来た反面、ステージの観客数が少ない団体があるなど極端であった。全体的に文化祭の宣伝が少ないなどの意見もあったため、今後は周知にも力を入れていきたい。 また、文化祭開催前に「文化祭を心待ちにしています」と言ってくださった方もいたため、今後も地域住民の方が1日中楽しめる文化祭をつくっていきたい。						


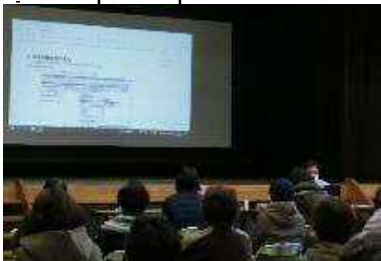
## 幸松地区 11

事業名 テーマ	こうまつ音楽祭		対象	一般		定員	70人	
ねらい	誰もが楽しめる楽曲による音楽鑑賞会を開催し、芸術文化に親しむ機会を提供する。							
協力機関 及び団体			特色 位置づけ			SDGs の目 標No	4	
会場	幸松地区公民館 講堂		教材 資料等					
実施ま での経 過	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止		PR方法	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止				
			受付方法	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止				
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
				男 計	女 計	合計		
回数	総時間数	内容未定	演奏	0	0	0		
0回	0時間			0	0	0		
企画運営上 の工夫	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止							
成果 参加者の 声など	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止							
課題と展望	例年2月上旬の開催を予定しているが、季節性インフルエンザなどの流行時期と被ることから、開催時期の変更を検討する必要がある。							

事業名 テーマ	小・中学生期家庭教育学級		対象	小・中学生の保護者及び家庭教育に関心のある人		定員	70名	
ねらい	小・中学生期における家庭教育の重要性を認識するとともに、親として望ましい在り方を理解し、明るく豊かな家庭づくりを目指す。							
協力機関 及び団体	共催: 東中学校・同PTA、幸松小学校・同PTA、牛島小学校・同PTA、小淵小学校・同PTA 更生保護女性会(託児)		特色 位置づけ	重点事業		SDGs の目 標No	4	
会場	幸松地区公民館 講堂		教材 資料等	レジュメ				
実施ま での経 過	4月1日(金) 企画・立案・指導者折衝 7月8日(金) 各校PTAと打ち合わせ (テーマ決定) 9月8日(木) 各校PTAと打ち合わせ (当日進行) 10月1日(土) 公民館だより発行 10月12日(水) 講師依頼通知発送開始 10月15日(土) 各学校へ申込書、ポスター 配布 12月6日(火) 前日準備 12月7日(水) 開催		PR方法	・公民館だより「ふじの里」10月号掲 載 ・幸松地区内各小・中学校へ参加 申込書兼チラシ及びポスター配布				
			受付方法	10月15日(土)～11月25日(金)ま でに幸松地区公民館窓口または電 話で申込				
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
				男	女	合計		
回数	総時間数			計	計	計		
12月7日(水)	10:00～12:00	「コロナ禍、現代ストレス 社会における親子の関係 と子供の心のケア」	講演	5	32	37	埼玉県家庭教育 アドバイザー 吉田 理子	
1回	2時間			5	32	37		
企画運営上 の工夫	各校のPTAの意見を上手く取りまとめ、講演のテーマが決定できた。また、埼玉県東部教育事務所の家庭教育アドバイザー派遣制度を活用することで、講師の選定をスムーズに行うことができた。							
成 果 参 加 者 声 な ど	「これからの情報化社会を生き抜くにはどうしたらよいか、子供と一緒に考えていきたい」、「今日の講演を参考に子供との向き合い方を再考します」等、講演内容が充実していたと感じさせられる感想を多数いただいた。また、アンケートの結果、大多数が講演内容に「満足した」との回答であった。							
課題と展望	小・中学生期の子供を持つ親御さんの力になれるような講演を実施できるよう、PTA役員の方と連携して来年度も開催していきたい。							

幸松地区 13

事業名 テーマ	幸松地区防災のつどい		対象	幸松地区在住者		定員	20名	
ねらい	突然の水害や地震など、いつ自然災害が起きても自分や家族・地域を守ることができるように、日頃から地域の実情を知っておくことの重要性を学ぶ。							
協力機関 及び団体	春日部市防災対策課 春日部市消防本部警防課 牛島地区自主防災会		特色 位置づけ			SDGs の目 標No	4・13	
会場	幸松地区公民館		教材 資料等	春日部市災害対策のすすめの冊子				
実施ま での経過	7月中旬 防災対策課との打合せ 10月下旬 牛島地区自主防災会と打合せ 11月17日(木) 防災対策課との打合せ 11月19日(土) 牛島地区自主防災会との打合せ 11月30日(水) 防災対策課との打合せ 12月15日(木) 自衛消防訓練通知提出 12月25日(日) 実施		PR方法	公民館だより12月号				
			受付方法	12月8日(木)より、幸松地区公民館へ直接また電話にて申込				
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
回数	総時間数			男 計	女 計	合計		
12月25日(日)	10:00~12:00	地震体験ゆらりん AED体験 防災用品設置訓練 避難所受付訓練	訓練 実習	31	16	47	春日部市防災対策課 春日部市消防本部 警防課 牛島地区自主防災会 公民館職員	
1回	2時間			31	16	47		
企画運営上 の工夫	<p>・幸松地区において、各自治会等では自主防災組織を中心とした防災訓練は行っていたが、地区全体では実施していなかったため昨年度に引き続き、地区内住民を対象にして実施をすることで、地区内住民に防災に関する知識等を学ぶ機会を提供する。</p> <p>・幸松地区公民館が災害時等で避難所になることから、有事の際の避難所内の誘導訓練や簡易ベッドの設置や仮設トイレ、間仕切り、テントなどの組立を実際に体験してもらい、有事の際に速やかな対応が取れるようにする。</p>							
成果 参加者 の声など	アンケート結果では、「地震の怖さを体験できた」「色んな体験ができてよかった」「防災に関するいろいろなことが勉強になった」等の声が多く盛況であった。							
課題と展望	今年度は、昨年事業を実施した際に、各種訓練が体験できなかった人もいたため、人数を少し絞って実施をしたところ、参加してくれた人たちのほぼ全員が満足してくれた。来年度以降は、開催時期などについても参加者の要望も踏まえて検討していく。また、内容についてもより充実させたものにするなど検討をしていく。							

事業名 テーマ	利用者のつどい		対象	公民館利用団体	定員	各団体 2名以下	
ねらい	公民館利用者と公民館の連絡及び利用者相互の交流の場とする。						
協力機関 及び団体		特色 位置づけ		SDGs の目 標No	4		
会場	幸松地区公民館 講堂		教材 資料等	春日部市幸松地区・幸松第二公民館利用案内			
実施ま での経 過	12月1日(木)	公民館だより掲載 申込開始 案内配布開始	PR方法	公民館だより12月号 窓口にて公民館利用団体に申込 書を配布			
	1月12日(木)	申込〆切 自衛消防訓練通知提出					
	1月19日(木)	実施	受付方法	1月12日(木)までに公民館窓口に 参加申込書を提出			
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
				男 計	女 計	合計	
回数	総時間数						
1月19日(木)	10:00~12:00	公民館利用に関すること サークル・団体運営に関すること 公共予約システムの利用説明 人権研修 消火訓練	説明 説明 説明 鑑賞 実技	7	33	40	公民館職員
							
1回	2時間			7	33	40	
企画運営上 の工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事前予約制とし、各団体2名までの参加とした。</li> <li>・受付時の検温、手指消毒、職員及び参加者のマスク着用を徹底。また、席と席間前後左右1m間隔を開け、参加者同士の密を避けるようにした。</li> <li>・公民館利用について、通常の貸館対応とコロナ禍での貸館対応をそれぞれ説明。</li> <li>・人権問題について、多くの団体に知ってもらうため研修(DVD鑑賞)を同時開催する。</li> </ul>						
成果 参加者 の声など	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当日は32団体の参加があり、利用者同士の交流が十分図られた。</li> <li>・参加者は個人のスマホやインターネットを使った公共施設予約システムの使い方等を学習し施設の利用等について一層理解を深められた。</li> <li>・参加者は消火訓練をとおして、防災意識を高めることができた。</li> </ul>						
課題と展望	今後も公民館施設をより利用しやすいものにするために、公民館利用者との意見交換の場として開催をしていくため、内容を検討して実施していきたい。						


## 幸松地区 15

事業名 テーマ	人権問題研修会		対象	公民館利用団体	定員	各団体 2名以下	
ねらい	私達の身近にある、様々な人権問題を正しく理解し、差別に対してどう行動すればよいか考え、学ぶ。						
協力機関 及び団体	社会教育課	特色 位置づけ		SDGs の目 標No	10		
会場	幸松地区公民館 講堂		教材 資料等	人権研修ビデオ			
実施ま での経過	12月1日(木) 公民館だよりにて案内 申込み開始 1月19日(木) 実施		PR方法	利用団体へ案内文を配布 公民館だより「ふじの里」12月号掲 載			
			受付方法	12月1日(木)から1月12日(木)まで に公民館窓口にて受付(各団体2名 まで)			
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職 名 氏 名
回数	総時間数			男 計	女 計	合計	
1月19日(木)	11:00~11:30	人権研修 人権啓発DVD 知りたいあなたのこと ～外見からはわからない 障害・病気を抱える人～	鑑賞	7	33	40	
1回	30分			7	33	40	
企画運営上 の工夫	利用者のつどいと同時開催することで、より多くの人に人権問題を意識してもらうきっかけとなるようにした。						
成果 参加者の 声など	DVD鑑賞をとおして実際に生涯や病気を抱えた方々の辛さや悩みを知ることができ、偏見や差別意識を払拭する一助となった。						
課題と展望	利用者のつどいと同時に開催しているため、参加者が利用者のつどいに参加している人に限定されてしまっている。今後はその他の方にも参加してもらえるような方法を考えていきたい。						




事業名 テーマ	サークル体験会		対 象	一般		定員	—	
ね ら い	新たに活動を始めたいと考える人に参加する機会を設ける。また、会員募集を行うサークルの広報を行うチャンスとし、公民館活動の活性化を図る。							
協力機関 及び団体	幸松地区公民館、幸松第二公民館利用団体のうち参加団体		特 色 位置づけ			SDGs の目 標No	4	
会 場	幸松地区公民館・幸松第二公民館		教 材 資 料 等					
実施まで の経過	10月1日(土) 公民館だより掲載 10月26日(水) 参加団体募集開始 2月1日(水) 公民館だより掲載 参加者募集開始		PR方法	公民館だより掲載 ポスター・チラシ配布				
			受付方法	2月1日(水)より、幸松・幸松第二公民館へ直接または電話で申し込み。				
月日(曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
回 数	総時間数			男 計	女 計	合計		
3月2日(木) から 3月28日(火)		サークル活動の見学・体験	実習	1	6	7	各団体	
				1	6	7		
企画運営上 の工夫	日ごろ公民館を利用しているサークルの活動に興味関心を持っている方に、参加するきっかけ作りを行う。また、体験会を行うことで利用サークルの広報を行う。また、公民館だよりに掲載することで参加を促すとともに、公民館サークルの紹介とする。							
成 果 参加者の 声 など	体験会参加者から、「体験した内容がとても興味あるもので、サークルに加入して深く、学んでみたい」との声を多く頂いた。また体験会参加団体から「今後は、公民館と一緒に講座や教室を是非開催したい」との声を多く頂いた。サークル体験会のねらいを達成する成果が得られた。							
課題と展望	参加者の声にあったように、会員参加募集をしている団体は公民館での講座や教室の開催意識が高い。このような団体に講座教室の開設支援を積極的に実施することで公民館活動の活性化を図りたい。							

## 幸松地区 17

事業名 テーマ	「睡眠」と「健康」の知恵袋講座		対 象	成人	定員	20名	
ね ら い	日常生活に身近な題材を取り上げ、地域住民に役立つ知識を提供し教養を高めてもらう。						
協力機関 及び団体	明治安田生命保険相互会社		特 色 位置づけ		SDGs の目 標No	4	
会 場	幸松第二公民館 大会議室		教 材 資 料 等	レジュメ			
実施ま での経 過	7月上旬 企画・立案 8月9日(火) 打合せ 11月1日(火) 打合せ・講師依頼 12月1日(木) 「ふじの里」12月号掲載 1月中旬 ポスター掲示 1月24日(火) 受付開始 ～ 2月15日(水) 実施		PR方法	公民館だより「ふじの里」12月号 ポスター掲示			
			受付方法	1月24日(火)午前9時から幸松第二 公民館窓口もしくは電話申込み			
月日(曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
				男	女	合計	
回 数	総時間数			計	計	合計	
2月15日(水)	10:30～12:00	最適な睡眠について 	講義	3	12	15	明治安田生命保険相互会社 竹野 通子
1回	1時間30分			3	12	15	
企画運営上 の工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民間企業と連携した講演を実施する。</li> <li>・男女問わず関心のある内容を企画し、集客をねらう。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、検温と手指アルコール消毒、マスクの着用を徹底した感染症対策を講じて行った。</li> </ul>						
成 果 参加者 の 声 など	「資料説明が詳しくわかりやすいので今後役に立てられる内容でした」「睡眠について理解が深まり、疑問が解決できた」「実践してみたい事もあり、参考になった」「理解できる事とそうでない事があった」などおおむね満足との成果が得られた。						
課題と展望	参加者は高齢者が多く、健康に関する講座は需要が高いと考えられるので、今後も関係団体と協力し、内容のわかりやすい事業を実施していきたい。						

事業名 テーマ	幸松第二公民館利用者作品展示		対 象	幸松第二公民館 利用サークル 来館者		定員	—	
ねらい	公民館利用サークル会員に発表の場を提供するため、ロビーを展示スペースとして活用し、地域住民に鑑賞の場を設ける。							
協力機関 及び団体	幸松第二公民館利用サークル		特 色 位置づけ			SDGs の目 標No	4	
会 場	幸松第二公民館ロビー		教 材 資 料 等					
実施まで の経過	4月～3月 随時展示作品申し込み 3ヶ月ごとに季節の作品を展示 4月初旬6・9・12末作品入替他希望時 作品入替		PR方法	公民館だより、公民館ブログ				
			受付方法	・窓口にてロビー展示申込(随時) ・自由観覧				
月日(曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
				男	女	合計		
回 数	総時間数			計	計			
4月～6月 7月～9月 10月～12月 1月～3月		季節に因んだ作品 及びサークル活動作品の展 示 	展示 観覧				ピーマン 金曜会 松寿会	
12ヵ月								
企画運営上 の工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ロビーに展示スペースを設け、より多くの作品を飾り来館者の目に触れてもらうようにした。</li> <li>・レイアウトも作品が引き立つように工夫して展示していく。</li> <li>・公民館利用団体などに声掛けし、日頃の成果を発表する機会の提供をする。</li> <li>・幸松第二公民館ブログに掲載することにより、広く作品を紹介することができる。</li> </ul>							
成 果 参加者の 声 など	<ul style="list-style-type: none"> <li>・季節を感じる作品を展示することにより、来館者に興味を持って頂き、コミュニケーションがとれる場ともなった。</li> <li>・作品を披露できたことで出展者からとても喜ばれ、次回作の意欲につながった。</li> </ul>							
課題と展望	<ul style="list-style-type: none"> <li>・展示スペースが限られているため、作品数との兼ね合いが難しい時もあるので、展示方法を考えていきたい。</li> <li>・展示内容の変化などにより、新たな視点で広く興味をもってもらえる作品展示に努めていきたい。</li> </ul>							

事業名 テーマ	健康歌声ひろば		対象	幸松地区住民		定員	30人	
ねらい	懐かしい歌や思い出の歌を、大勢が集い一緒に歌うことで地域住民の連帯感を醸成する。また、定期的に楽しく集うことで公民館の利用人員の増加を図り、幸松地区の活性化に寄与する。							
協力機関 及び団体			特色 位置づけ				SDGs の目 標No	4
会場	幸松第二公民館 大会議室		教材 資料等					
実施ま での経 過	8月 中旬 講師・ピアニストの依頼 9月 中旬 内容打合せ 10月5日(水) 募集開始 11月5日(土) 事業実施		PR方法	・公民館だより10月号 ・ポスター掲示				
			受付方法	10月5日(水)から幸松第二公民館 窓口または電話にて申込み				
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職 名 氏 名	
回数	総時間数			男	女	合計		
11月5日(土)	13:00~14:30	童謡、季節の歌、昭和歌謡、 世界の名曲等を歌う。	実習	1	28	29	芝あい子(音楽療法士) その他、伴奏者1名	
								
1回	1時間30分			1	28	29		
企画運営上 の工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本に限らず世界の名曲等を歌い、地域住民の文化的教養を高めるような環境を提供する。</li> <li>・歌を通じて地域コミュニティ形成を目的とするため、月1~2回の定期開催を目指す。</li> </ul>							
成 果 参加者 の声 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・皆さんと大声で歌うことがないので大変元気になりました。</li> <li>・声を出していませんでしたから、今日は思い切り歌えた。</li> <li>・知ってる曲で楽しく歌えました。ピアノがとっても良かったです。</li> <li>・コロナ禍で家にいたので、明るい気持ちになりました。希望が持てました。</li> <li>・先生のリードがとても楽しく歌いやすかったです。</li> <li>・先生のお話が面白く、楽しく過ごさせていただきました。</li> <li>・全員一緒に歌うことでの連帯感の醸成や孤独感を減少させることが出来ました。また、懐かしい思い出の歌を歌う事で、当時を思い出し心身が若返ったように感じました。</li> </ul>							
課題と展望	<p>参加者の居住地がほぼ幸松地区の方であり、本事業のねらいである「幸松地区の活性化」は達成されていると見受けられる。</p> <p>参加者数は29名でほぼ定員に達しているものの、男性の参加が1名のみと極端に少ない。男性の参加者を増加させることが今後の課題となる。参加者の8割が「公民館だより」により、本事業を認知しているため、記事の内容や表現に工夫を凝らし、男性が参加したいと感じるものとしていきたい。</p>							

事業名 テーマ	公民館まつり		対象	定めず		定員	400名程度
ねらい	蚤の市や縁日を模した、「公民館まつり」を開催することで地域住民の交流を深めると共に世代間の交流を図る。						
協力機関及び団体	幸松婦人会・ふれあい大学30期・埼玉県立春日部東高等学校化学部・明治安田生命保険相互会社		特色 位置づけ			SDGsの目標No	4
会場	幸松地区公民館 体育室		教材 資料等				
実施までの経過	4月1日(金) 企画・立案・指導者折衝 10月1日(土) 公民館だより発行 10月12日(水) 講師ボランティア協力依頼通知発送開始 11月1日(火) 各学校へポスター配布 11月12日(土) 前日準備 11月13日(日) 開催		PR方法	・公民館だより「ふじの里」10月号掲載 ・幸松地区内各小・中学校ポスター配布			
			受付方法				
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回数	総時間数			男	女	合計	
11月13日(日)	10:00~16:00	 「遊びコーナー」 「わくわく化学実験劇場」 「リサイクル本コーナー」 「野菜摂取量・血管年齢チェック」 「ヨーヨー釣りコーナー」 「防災コーナー」	実習	190	160	350	埼玉県立 春日部東高等学校化学部 ふれあい大学30期 幸松婦人会 明治安田生命保険相互会社
1回	6時間			190	160	350	
企画運営上の工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもたちに、普段あまり体験することのできない昔の遊びを、実際に体験してもらいながら伝えられるようにした。</li> <li>核家族化により高齢者と過ごす機会が少なくなっている子どもたちに、遊びを通して高齢者と触れ合える機会を作り、世代間の交流を図れるようにした。</li> <li>地域住民が、地元の高등학교や春日部市に拠点のある企業との交流の場を作り、地域コミュニティの活性化につながるようにした。</li> <li>同日開催したふれあい文化祭の参加団体にも、「公民館まつり」に参加してもらい、地域コミュニティとの交流をより一層、促進した。</li> </ul>						
成果参加者の声など	小学生に限らず、いろいろな年代層が多く訪れ、思い思いに各種催しの会場を回り、家族みんなで地域の方や、春日部市に活動の拠点を置く企業、地元の高校等と交流する姿が見られた。また、リサイクルコーナーで、日本赤十字社が実施する各種募金活動を紹介し、任意に募金に協力していただくことで、慈善活動等に関心をもってもらうことができた。						
課題と展望	リサイクル本コーナーで配架する書籍について、開催側の持ちよりだけでなく、資源ゴミの再利用など、関係各課に協力を依頼し配布可能な書籍の量や種類を増やす。 全員参加型の、イベントを企画し、参加者同士の交流がより促進されるような会場づくりをする。						

事業名 テーマ	公民館だより「ふじの里」発行		対 象	幸松地区全戸	定員	—
ね ら い	幸松地区内住民への公民館事業及び地域行事の情報提供を行う。					
協力機関 及び団体			特 色 位置づけ			SDGs の目 標No
会 場			教 材 資 料 等			
実施ま での 経 過	発行月初め	編集会議	PR方法	受付方法		
	発行月上旬 ～中旬	作成				
	発行月下旬	印刷・梱包	掲載依頼記事は、前月の10日まで			
	偶数月1日	発行				
月日(曜)	時 間	内 容	方法	参加者		講師・助言者の職 名 氏 名
回 数	総時間数			男 計	女 計	
年6回偶数月発行		公民館主催事業等の 情報などを提供 約8,700部/回を配布				
6回						
企画運営上 の 工 夫	公民館事業については見やすく、興味をもたれるような紙面づくりを心掛けた。利用サークルの会員募集や、他の公民館・他課の情報も出来る限り掲載するようにした。掲載内容が多い月はA3の用紙サイズとすることで、見やすく情報提供することを心掛けた。					
成 果 参 加 者 の 声 など	主催事業の参加者にアンケートをとると、事業を知ったきっかけは公民館だよりという回答が大半を占める。公民館だよりの発行は、地域住民にとって、公民館事業を知る主な手段となっている。					
課題と展望	事業実施報告や参加者の声なども掲載する紙面や見やすい紙面作りを考えたい。					